

## 12 安全保障委員会

### 【第201回国会】

#### (1) 委員名簿 (30人)

委員長	西銘 恒三郎君	自民	理事	大岡 敏孝君	自民
理事	小田原 潔君	自民	理事	原田 憲治君	自民
理事	長島 昭久君	自民	理事	小熊 慎司君	立国社
理事	宮澤 博行君	自民	理事	佐藤 茂樹君	公明
理事	篠原 豪君	立国社		江渡 聡徳君	自民
	岩田 和親君	自民		大西 宏幸君	自民
	小野寺 五典君	自民		門山 宏哲君	自民
	大野 敬太郎君	自民		左藤 章君	自民
	熊田 裕通君	自民		鈴木 貴子君	自民
	塩谷 立君	自民		浜田 靖一君	自民
	中谷 元君	自民		重徳 和彦君	立国社
	渡辺 孝一君	自民		照屋 寛徳君	立国社
	寺田 学君	立国社		屋良 朝博君	立国社
	本多 平直君	立国社		赤嶺 政賢君	共産
	濱地 雅一君	公明			
	串田 誠一君	維新			

#### (2) 議案審査

付託された議案は、内閣提出法律案1件で、審査の概況は、次のとおりである。

#### 防衛省設置法の一部を改正する法律案（内閣提出第4号）

- 要旨  
自衛隊の任務の円滑な遂行を図るため、自衛官の定数を改めるもの
- 審査結果  
可決
- 審査経過

提出日	衆議院 趣旨説明	衆・委員会			衆・本会議 議決日 結果	参・委員会 議決日 結果	参・本会議 議決日 結果	公布日 番 号
		付託日 提案理由	質疑	議決日 結 果				
令和 2. 1. 31		4. 2	4. 7	4. 7 可決(多)	4. 10 可決	外交防衛 4. 16 可決	4. 17 可決	4. 24 法19号
		4. 3		(賛-自民・立国社・ 公明・維新) (反-共産)				

#### (3) 国政調査

国政調査では、質疑が行われた。主な質疑内容は、次のとおりである。

- 主な質疑内容
  - ・ 自衛隊による中東地域における日本関係船舶の安全確保に必要な情報収集活動の法的根拠
  - ・ 新型コロナウイルス感染症対策のために自衛隊の災害派遣を行う理由及び意義
  - ・ 潜水艦や自衛艦などの狭あいな艦内における自衛隊の新型コロナウイルス感染症対

策

- ・ 平成25年1月に沖縄の41市町村長等の連名で提出された「建白書」を防衛大臣が歴史公文書として国立公文書館へ移管することを決定した背景及び理由
- ・ 陸上自衛隊の将官級の天下り問題に係る調査班に外部の者を配置する必要性
- ・ 5GやIoTの普及に伴い電力施設等へのサイバー攻撃のリスクが高まり武力攻撃に近い事態が発生し得ることに対する防衛大臣の見解
- ・ イージス・アショア配備計画の停止の判断がなぜ本年6月時点でなされたかについての防衛大臣の見解
- ・ イージス・アショア配備計画の停止の判断に当たってブースターの落下場所の問題以外にその導入の費用対効果やミサイル技術の進展に伴う迎撃能力の問題も要因となった可能性
- ・ 第31海兵遠征部隊（31MEU）の兵員数や輸送能力などの事実を踏まえてグアム移転事業や普天間飛行場代替施設建設の合理性を判断する必要性
- ・ 辺野古新基地建設工事に係る環境保全のための監視体制が不十分ではないかとの指摘に対する防衛省の見解

（閉会中審査）

- ・ イージス・アショア配備計画の停止の判断がなされた経緯を検証し結果を報告する必要性についての防衛大臣の見解
- ・ 香港国家安全維持法の成立・施行により「一国二制度」の国際約束をほごにした中国に対して、習近平国家主席の国賓としての受入れが不可能であることを伝える必要があるとの意見に対する政府の見解
- ・ 敵基地攻撃能力保有の検討とF-35B戦闘機の導入、「いずも」型護衛艦の改修及びスタンド・オフ・ミサイルの導入との関係性についての防衛大臣の見解

## 【第202回国会】

### (1) 委員名簿 (30人)

委員長	西銘 恒三郎君	自民			
理事	小田原 潔君	自民	理事	大岡 敏孝君	自民
理事	長島 昭久君	自民	理事	原田 憲治君	自民
理事	宮澤 博行君	自民	理事	小熊 慎司君	立国社
理事	篠原 豪君	立国社	理事	佐藤 茂樹君	公明
	岩田 和親君	自民		江渡 聡徳君	自民
	大西 宏幸君	自民		大野 敬太郎君	自民
	門山 宏哲君	自民		北村 誠吾君	自民
	左藤 章君	自民		塩谷 立君	自民
	中谷 元君	自民		浜田 靖一君	自民
	山本ともひろ君	自民		若宮 健嗣君	自民
	渡辺 孝一君	自民		重徳 和彦君	立国社
	寺田 学君	立国社		照屋 寛徳君	立国社
	本多 平直君	立国社		屋良 朝博君	立国社
	濱地 雅一君	公明		赤嶺 政賢君	共産
	串田 誠一君	維新			

### (2) 議案審査

付託された議案はなかった。

## 【第203回国会】

### (1) 委員名簿 (30人)

委員長	若宮 健嗣君	自民	理事	大塚 拓君	自民
理事	小田原 潔君	自民	理事	宮澤 博行君	自民
理事	長島 昭久君	自民	理事	重徳 和彦君	立民
理事	山本ともひろ君	自民	理事	遠山 清彦君	公明
理事	村上 史好君	立民		江渡 聡徳君	自民
	岩田 和親君	自民		大西 宏幸君	自民
	大岡 敏孝君	自民		門山 宏哲君	自民
	大野 敬太郎君	自民		塩谷 立君	自民
	北村 誠吾君	自民		西銘 恒三郎君	自民
	中谷 元君	自民		山下 貴司君	自民
	原田 憲治君	自民		柿沢 未途君	立民
	渡辺 孝一君	自民		照屋 寛徳君	立民
	篠原 豪君	立民		屋良 朝博君	立民
	本多 平直君	立民		赤嶺 政賢君	共産
	佐藤 茂樹君	公明			
	杉本 和巳君	維新			

### (2) 議案審査

付託された議案は、内閣提出法律案1件で、審査の概況は、次のとおりである。

#### 防衛省の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第7号）

○ 要旨

一般職の国家公務員の例に準じて防衛省職員の期末手当を改定するもの

○ 審査結果

可決

○ 審査経過

提出日	衆議院	衆・委員会			衆・本会議	参・委員会	参・本会議	公布日 番 号
	趣旨説明	付託日 提案理由	質疑	議決日 結 果	議決日 結 果	議決日 結 果	議決日 結 果	
令和 2.11. 6		11.12	11.19	11.19 可決(多)	11.20 可決	外交防衛 11.26 可決	11.27 可決	11.30 法67号
		11.13		(賛-自民・立民・公明) (反-共産・維新)				

### (3) 国政調査

国政調査では、質疑が行われた。主な質疑内容は、次のとおりである。

○ 主な質疑内容

- ・ バイデン次期米政権との間における日米同盟の深化に向けた我が国の取組についての防衛大臣の見解
- ・ 自律型致死兵器システム（LAWs）の開発に対する政府の基本的立場
- ・ イージス・アショアの代替案として洋上プラットフォーム案を採用した場合における海上自衛隊の負担軽減や南西諸島防衛への影響
- ・ 政府による馬毛島の土地の取得に関して買収金額の積算根拠を明らかにする必要性についての防衛省の見解

- ・ 相手方による攻撃の着手と認められるミサイル発射の直前直後の極めて短い時間の中でミサイル及びその発射装置を敵基地攻撃によって破壊することの現実的な可能性
- ・ 辺野古新基地建設に係る軟弱地盤改良工事実施のため沖縄本島南部を埋立用土砂の採取候補地とした防衛省の対応には沖縄の歴史や沖縄戦の遺族への配慮が欠如しているとの指摘に対する防衛大臣の認識
- ・ 米中両国の経済力及び軍事力が接近し両国衝突のリスクが指摘される状況における我が国の立ち位置
- ・ 機微な技術情報の流出を防止するため民間企業を対象とした新たなセキュリティ・クリアランス制度を導入する必要性
- ・ 有機フッ素化合物（PFOS及びPFOA）による水質汚染問題について米国内における対策強化の動きを踏まえ在日米軍の対応を米国側とすり合わせる必要性
- ・ 防衛省と「密接な関係」にある営利企業体の顧問の役職に再就職した者が元の職場へ不当な働き掛けを行う可能性に関する防衛大臣の見解